

第6回運営推進会議

令和3年11月28日

グループホーム軽井沢

〈議題〉

- ・近状活動報告
- ・介護ケア事例研究について
- ・質疑応答

〈参加者〉

入居者ご家族 様	欠席
地域住民 様	欠席
松山市介護保険課 様	欠席
地域包括西 様	欠席
松山市社会福祉協議会 様	欠席
民生委員 様	欠席
グループホーム軽井沢職員	出席

コロナ対策の為文書開催とする。

1 入居(所)者の状況(11 月 19 日)		(男性 3 人、女性 15 人)										
内 訳	要支援2	0人	要介護1	3人	要介護2	1人	要介護3	6人	要介護4	4人	要介護5	4人
10 月	入居(所)	0 人	(特記事項)									
	退居(所)	0 人										
11 月	入居(所)	1 人										
	退居(所)	0 人										
2 主な活動、出来事												
10 月 1 日	味生・生石地域包括支援センター・民生委員へ運推報告書郵送し意見要望願する。											
月 日	味生・生石地域包括支援センターから返信あり。10/11日松山市介護保険課へ運推報告書類一式郵送する。											
10 月 10 日	ハロウィン行事行う											
10 月 11 日	第3回身体拘束・虐待適正化委員会開催する。											
11 月 日	さくらんぼ/ぽんかんユニット道後公園へ外出する。(4日.9日.29日に分けて)											
11 月 11 日	火災避難訓練行う。											
11 月 18 日	施設内資質向上研修行う。認知症について											
11 月 24 日	両ユニット合同でいもたき開催する。											
月 日												
3 次期の主な活動予定												
12 月 日	こどもの国保育園へクリスマスプレゼント届ける。クリスマス会・職員自己評価・AED研修											
1 月 日	お正月行事・倫理・虐待についての研修											
月 日												
月 日												
月 日												
4 特記事項、その他												
①												
②												
③												
④												

介護ケア事例研究

1. 基本情報

利用者名 M氏	年齢 80歳代	性別 男	要介護度	3
認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度		

2. ADLの状況

食事は自力摂取(細かいキザミ)、トイレや入浴等は介助が必要。
尿、便失禁が多く、汚れている事に気付かない。まれに気付いて、手できれいにしようとする行為がある。
歩行は独歩だが、R3/6月にキャスター付きの椅子を歩行、立ち上がりの支えにしてしまわれ、転倒。1か月程で今まで通り歩行が可能となる。
ふらつく事があり不安定の為、手引きや付き添いが必要。
ソファに座っていたり、他の利用者様の部屋へ入ろうとされたり、施設内をうろうろされることが多くなった。
自ら話し掛ける事はあまりないが、声を掛けると答えられる。

3. 本人の課題

- ・ふらつきがある
- ・便失禁の際は、気持ちが変わくて汚物を触ってしまわれることがある。

4. ケアプラン

長期目標

自立歩行が維持できる
清潔を保つことができる

短期目標

ふらつきを軽減するために、下肢の筋力を少しでも上げる事が出来る
自身の汚物を触らないようになる

ケア内容

- ・施設内での歩行訓練、足の上げ下げ運動
- ・レクリエーションへの参加の促し
- ・こまめなトイレ誘導を行い、便失禁や尿失禁を早期に対応出来るようにする。

介護ケア事例研究



介護ケア事例研究

5. 実施内容

<p>〈かかわり〉</p> <p>[短期目標: ふらつきを軽減するために、下肢の筋力を少しでも上げる事が出来る]</p> <ul style="list-style-type: none">・ふらつきを軽減するために、下肢の筋力を少し上げるための運動はあまり出来ていない。・歩行訓練は、施設内をうろうろする程度になっている。施設内で行うと、隣のユニットの奥様の方へ行ってしまわれるため、訓練出来ていない事が多い。・外出した際には、中距離の歩行も難しい状況だった。 <p>※引き続き事例研究を行う必要があると感じている。</p> <p>[短期目標: 自身の汚物を触らないようになる]</p> <ul style="list-style-type: none">・下剤を内服している時は、こまめにトイレ誘導が出来ている。・パット内へ便失禁している事は、多くあるが、弄便されることは見られなくなった。	<p>〈本人の様子〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「少し歩きますか？」と声をお掛けすると「うん」と嫌がらず歩かれる。・施設外への歩行訓練は、寒がりな為、「さむっ」と言われ中々行こうとされない。・ユニット間の扉が気になり、そちらへ行こうとされることが多い。職員が声掛けし、リビングへ誘導しようとするも、強めに拒否されることが見られた。 <p>・何度もトイレ誘導を行うと、たまにうっとうしそうにされることがある。</p>
--	---

6. 考察

<p> </p>

介護ケア事例研究

